

# 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門

## 新人理学療法士研修（レジデント制度）

2020年8月

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門

### I. 背景

社会の変化に伴い、医療へのニーズも年々変化している。社会情勢変化に対応するため医療体制も大きく転換が求められており、理学療法士へのニーズも大きく変化しようとしています。我々理学療法士は、これらニーズに対応できる能力・技術・資質を身につける必要があり、それを可能にする教育体制の構築が必要となっています。

現在の理学療法士の教育においては、卒前教育のみでは社会のニーズに十分対応できる理学療法士の育成は困難であるのが現状です。一方で社会人の能力開発の7割以上が経験を通じた学習であるとされており、卒後の臨床現場における教育は、実践的な理学療法士を育成する上で最も重要な教育です。しかし、卒後に行われる新人教育は、各施設に一任されており、各施設で実施している新人教育は、マンパワー不足によって十分な時間を確保できている施設は少なく、卒後の教育体制が十分構築されているとは言えない状況です。

### II. 目的

理学療法士に求められる能力は、幅広い医学的知識に加え、社会人として備えるべき能力、さらには自ら課題をみつけそれを解決する方法や科学的な思考力・判断力です。本研修では、これらの能力の基礎を習得し、様々な臨床現場において活躍できる理学療法士の育成とこれら標準的な卒後教育システムを構築する事を目的としています。

### III. 基本理念

- ・高度急性期病院における標準的理学療法を実践し、自ら学び成長できる人材の育成
- ・社会人、医療人としてふさわしい豊かな人間性を磨く

### IV. 基本方針

- ・臨床推論の定着
- ・高度急性期医療におけるリスク管理のもと、標準的理学療法を実践

### V. 目指す理学療法士像

- ・高度急性期医療を理解し、他職種と連携し、患者のADL、QOLに貢献できる理学療法士
- ・理学療法の提供に情熱を持ち、全力で取り組める理学療法士
- ・幅広い視野を持ち、個別性の高い医療を提供できる理学療法士
- ・科学的根拠に基づいた医療を提供できる理学療法士

## VI. 研修内容

急性期病院での理学療法を提供する上で必要な基礎知識と技術を習得します。対象疾患は運動器、呼吸器、循環器、代謝疾患、神経難病、小児など多種多様な症例を経験します。また高度急性期医療におけるリハビリテーション以外の分野を理解するために研修医を対象とした講義の聴講や、看護部など他部門の見学も実施しています。